

メタファスト

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと（使用上の注意の項参照）。

【形状・構造及び原理等】

以下の構成品があり、記載の成分を含有します。

構 成 品	性 状	組 成
粉 材	粉 末	メタクリル酸エステル類の共重合体、BPO、その他
液 材	液 体	MMA、芳香族アミン、その他
ボンディングライナー	液 体	MMA、4-META

付属品：竹筆、スポイト

【使用目的又は効果】

暫間インレー、クラウン、ブリッジ等の製作、義歯床の修理等に用いる。

【組み合わせるボンディングライナーの使用目的】

義歯床の作製、補修及び裏装において義歯床へのレジンの接着に用いる。

【使用方法等】

1) 粉材、液材の使用法

適用症例に合わせて下記いずれかの使用法で操作します。

①混和法

- （1）ラバーカップ等に液材をとり、粉材を加え、素早くスパチュラ等で10～15秒混和します。
[標準粉液比 粉材：液材＝3：2（重量比）]
※ 液材はスポイトを使用し適量採取してください。
- （2）混和完了後、柔らかい餅状となります。
- （3）餅状となったものを圧接し使用します。
※混和完了後1分間で硬化が始まりますので、それまでにすべての操作を完了させてください。

②筆積法

- （1）必要量の粉材と液材を別々のラバーカップ等に採取します。
- （2）筆先を液材に十分浸し、縁で筆先をそろえます。
- （3）その筆先を粉材につけて玉をつくり使用します。
 - ・繰り返して行う場合は筆先についたレジンをガーゼ等でよくふき取ってから液材に浸してください。
 - ・液材は揮発性です。採取後の液材は、増粘して使いにくくなる前に速やかにお使いください。

③フリカケ法

- （1）少量の粉材をうすく散布します。
- （2）散布した粉材の上に液材を滴下して浸透させます。
- （3）（1）、（2）の操作を繰り返し、必要に応じて混和法、筆積法を併用します。
※ ①～③は混和後、約7分で硬化します。（周辺の温度等環境により変化することがあります。）

2) 金属表面の処理

クラスプ、補強線部分の補修等金属接着性が必要な場合は、以下の手順で予めボンディングライナーで金属面処理します。

①金属面の前処理

接着面を50μmのアルミナによりサンドブラスト処理をした後、水洗、乾燥します。

②ボンディングライナーの塗布

付属の竹筆、あるいは綿球にて被接着面にボンディングライナーを一層塗布し軽くエアブローします。

- ・貴金属は、ボンディングライナー塗布前に貴金属面処理を行ってください。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 液材とボンディングライナーは揮発性が高いので取扱中にこぼさないこと。高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛などの恐れがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。本材を使用する際は、

適切な換気（目安：1時間あたり数回の換気）がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動すること。

- 2) 本材の硬化物を研削、研磨する際は、粉塵による人体への影響を避けるために、局所集塵装置や公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。
- 3) 本材の硬化後は通法に従い形態修正と研磨を行い、最終仕上げ研磨を行うこと。本材の硬化物が口腔粘膜に接触する場合には、その硬化物の表面を研磨し、滑らかな面とすること。
- 4) 口腔内で用いる場合、本材の混合物は重合する過程において発熱を伴うことから、温度上昇を感じた場合は速やかに口腔外に取り出し、火傷や歯髄壊死等を起こさないように充分注意すること。
- 5) 液材は揮発性を有することから、未硬化の状態で口腔内に適用する場合は鼻呼吸するように患者に指導すること。[吸引により気分が悪くなる可能性がある]
- 6) 液材及びボンディングライナーは揮発性であるため、使用后すぐに閉栓すること。
- 7) 液材とボンディングライナーは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- 8) ラバーカップ等に取り出した粉材や液材は、元の容器に戻さず廃棄すること。
- 9) 完成したレジン硬化体は口腔内に装着するまで水中に保管し、残留モノマーを溶出させること。
- 10) 他の製品と混合して使用しないこと。
- 11) 使用後の筆は洗浄し筆先を揃え保管すること。
- 12) 感染予防のため、使用中の製品容器に唾液や血液等が付着した場合はアルコール等で適切に清掃し消毒すること。
- 13) 本材と併用して使用する歯科材料、機器及び器具は、それぞれの添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を厳守すること。
- 14) 本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。

【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には医師の診断を受けること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的接触を防ぐが、一部のモノマーや有機溶媒が短時間のうちに手袋素材を浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て石鹸を使用して流水で手を十分洗浄すること。
- ③液材又は液材と粉材の混合物は、直接素手で触れないこと。また、本材を口腔粘膜、皮膚、目に接触させないこと。口腔粘膜、皮膚に付着した場合は、すぐにアルコール綿などで拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。
- ④本材の液材成分にはメタクリル酸エステル系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
- ⑤使用中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合はうがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- ⑥本材を使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・液材とボンディングライナーは火気厳禁のこと。
- ・多湿、直射日光を避け、室温（1℃～ 30℃）の暗所にて保管すること。
- ・同一保管場所に大量に保管しないこと。
- ・保管場所及び使用場所には消火装置を備えること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔使用期間〕

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。〕

※（例 ☒○○○○－△△は使用期限○○○○年△△月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金（祝日を除く）午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>